

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2017～2018年度 大宮西ロータリークラブ週報



創 立：1963年3月22日	会 長 高橋 秀樹	第2546例会	2018/ 2/ 5
例会場：パレスホテル大宮	幹 事 染谷 義一	発 行 日	2018/ 2/26
例会日：月曜日12:30～13:30	公共イメージ 向上委員長 石丸 主憲	週報当番	石丸 主憲

会長あいさつ

会長 高橋 秀樹



皆さんこんにちは。本日はお客様として第2770地区 1994-1995年度、田中作次元R I 会長がガバナーをされた時に地区幹事を務められました八潮RCの齋藤 勝(さいとう まさる)様、同じく岡本 寿(おかもと ひさし) 会長エレクト様、そして岩槻東RCの山形 照之(やまがた てるゆき)様にお越しいただいています。ようこそお越しいただきました。心より歓迎いたします。また齋藤様にはのち程「ロータリーの基本的な考え」について卓話をさせていただきます。皆様どうかご清聴いただきますようお願いいたします。

さて、本日は二つのご報告がございます。一つ目は、先週の月曜日1/29～金曜日2/2の4泊5日で、荒井伸夫会員、竹内国際奉仕委員長、永井博副委員長、冷牟田地区補助金副委員長、山崎職業奉仕委員長、井上親睦委員長、青木陽会員、そして私の8名で、今年度の地区補助金海外特別卒業事業としてラオス・ルアンパバーンにあるラオ・フレンズ小児病院の3周年記念式典に参加して参りました。

後日、竹内委員長から詳細な報告をしていただきますが、私から活動の概要をご報告させていただきます。今回の事業内容は、

- ①感染予防の医療用手袋(1箱100枚入り)550箱(1900ドル)と新生児酸素濃度測定用センサー2000個(3725ドル)を寄贈したこと。
- ②入院している子供たちや近隣に住む子供たちに沢山のおもちゃをプレゼントしたこと。
- ③ラオ・フレンズのスタッフやアメリカ・カナダ・カンボジア・フィリピン・日本等の支援者、病院の現地スタッフ、そしてラオス政府の官僚

等と親睦を図ったこと。
の3つです。

- 1/30ラオス・ルアンパバーンに入り、直ちに病院に移動し、
- ①贈呈した医療用消耗品のケースに大宮西RCが贈呈したというシールを貼りつけ、
- ②大宮西RCはラオ・フレンズを支援しているというパネルを廊下の壁に取付けて貰い、
- ③赤尾さんに案内していただきながら、入院している子供たちに「ぬり絵帳と10色入りの色鉛筆」をプレゼントしました。ベッドで暗い表情をしていた子供が、プレゼントを差し出すと満面の笑みになって、カプチヤイ(ありがとう)と言って受け取ってくれました。その笑顔がとても印象的で今でも脳裏に残っているくらい感動しました。
- ④夜は、場所を移して、ラオ・フレンズのスタッフや各国の支援者、現地スタッフ、政府の官僚方との夕食会に参加しました。

1/31 9:30からの記念式典に参加し、予め勉強していたラオス語で挨拶をさせていただきました。式典終了後、持参したfrisbee 100個、グライダー100個、ソアラ円盤100個、ジェット風船72個のおもちゃやらくがき帳100冊、そして会員の皆様からご提供いただいたペンや鉛筆を近隣の子供たちに配り、遊び方を教えました。用意した約500個のおもちゃは30分程で無くなってしまいましたが、たくさんの子供たちの笑顔が見られてとても嬉しかったです。又当日の夜は、日本人夫婦が経営しているレストランでラオ・フレンズのスタッフと食事をして親睦を図りました。

海外での事業に初めて参加させていただきましたが、来年も大きな感動を味わいたいという気持ちで帰って参りました。来年の新井年度では是非ご検討いただきたいと思います。

二つ目のご報告は、インターアクトの海外研修で、韓国の研修団が2/3土曜日から2/8まで

ロータリー家族とともに行動し ともに感動する (55周年 全員で前進する ー 全・進 ー)

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4F

TEL. 048-871-8881 FAX. 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/



の5泊6日の日程で来日されています。当クラブがお世話している埼玉栄高校の細田さんが、来月韓国に研修に行く関係もあって、当クラブで1名お世話することになりました。2/3～6日の4日間、伊田部門委員長宅で宿泊し、7日は細田さんに泊まることになっています。そして明日、明後日のクラブデーでは、明日は伊田部門委員長、明後日は、福田会員と島村会員にご対応いただくことになっています。ご多忙の中、お世話いただきますことに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

以上、ご報告させていただきました。

お客様ご紹介 小沢 孝 副会長

国際ロータリー第2770地区

1994～1995年度地区幹事 齋藤 勝 様

第9グループ八潮ロータリークラブ

会長エレクト 岡本 寿 様

第4グループ 岩槻東ロータリークラブ

パストガバナー補佐 山形照之 様

お客様ご挨拶

国際ロータリー第2770地区第9グループ
八潮ロータリークラブ
会長エレクト 岡本 寿 様



幹事報告

幹事 染谷義一



本日は国際ロータリー第2770地区、1994-1995年度、地区幹事の齋藤 勝様、八潮ロータリークラブ、会長エレクト、岡本 寿様ようこそお越しいただきました。齋藤様におかれましては「ロータリーの基本的な考え」をテーマに卓話を頂きます。宜しくお願ひ致します。またメイキャップに岩槻東RCの山形照之様、当クラブの例会にお越しいただき大変ありがとうございます。

- ◆ 今月のロータリーレートは1\$ 110円です。
- ◆ 国際奉仕委員会竹内委員長を初めとする委員会の皆様、ラオスでの国際支援事業大変お疲れ様でした。無事のご帰還なによりです。大変お疲れ様でした。
- ◆ 2/19、第4GのIMですが、ただ今70名のご出席です。多くのご登録を頂きありがとうございます。
- ◆ 青少年奉仕部門伊田委員長、インターアクト高橋真貴子委員長を初めとする委員会の皆さん、

福田さん、韓国からのホームステイ受け入れ並びに送迎等ご対応頂き大変ありがとうございました。

- ◆ 大宮東RCの40周年記念式典が4月14日に開催されます。ご案内申し上げます。
- ◆ 本日の例会前に開催されました理事会での決議事項につきましては週報にてご報告させていただきます。

2018-19年度 地区役員委嘱書

R L I 運営委員	竹内 雅人
公共イメージ向上委員	小木曾賢己
公共イメージ向上委員	村松宏呂子
会員増強維持委員	小林 政良
職業奉仕委員	次郎丸雄希
地域社会奉仕委員	小岩 淳一
国際交流委員	島村まり子
R Y L A 委員	坂本 哲朗
米山記念奨学増進委員	内山 泰成
米山記念奨学学友選考委員	藤嶋 剛史



委員長報告



IM実行委員会
委員長 林 正

2月19日(月) IM清水恒信ガバナー補佐を会員一同で盛り立てましょう。実行委員会の皆様、当日宜しくお願いします。

財団支援部門
委員長 荒井伸夫



「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
財団設立50周年記念式典に参加して」

昨日2月4日、ホテルグランドニッコー東京台場で開催された、米山財団50周年記念式典に参加してきました。

ご承知のように、米山財団は東京RCの米山梅吉翁が、母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学する目的で1952年に設立され、1967年に財団法人化されました。この50年の間に世界125か国、約2万人

の外国人留学生を支援してきました。卒業生である学友は、現在は世界各地で活躍されていますが、この記念式典にご招待された学友は、スピーチで声をそろえて“恩返し”ということをしていました。紛争、人権、安全、環境等国際社会がますます混迷を深めている今日、改めて米山財団事業の人材育成を通じた世界平和への創造構築の意義深さを実感しました。

今後も、皆さんと共に米山奨学事業に限りない支援をしていきたいと思えます。

社会奉仕委員会 委員長 小林政良



来月3/24(土)になりますが、鉄道博物館ナイトミュージアム移動例会を開催いたします。

このナイトミュージアムで御座いますが今年で4回目の開催となります。新しい会員の皆様もいらっしゃいますので改めまして事業内容を申し上げますと、以前在籍されておりましたJRの筑波駅長のご提案で鉄道博物館を使用できますと言うことで、我がクラブの創立周年事業の一環として創立月の3月に鉄道博物館を貸切りにしまして近隣の小学生並びにご家族をご招待し、地域社会に貢献をするという事業で御座います。

今年、我がクラブは創立55周年を迎えます。そこで今年には創立55周年記念事業と致しまして、この事業を開催させていただきたいと思えます。

今年には55周年記念事業で御座いますので、沢山の来場者を見込んでおります。昨年は2,000名を超える来場者数で御座いましたが、今年にはさらに多くの方々に来ていただけたらと思っておりますので、会員の皆様は勿論のこと、ご家族の皆様、会社従業員の皆様にもお声をかけていただきまして是非、ご来場頂けますよう、ご協力お願い致します。今年にはインターアクトの埼玉栄高校の生徒の皆様にもお手伝いしていただく予定です。尚、今年にはご来場していただいた小学生児童のみなさんに記念品を差し上げる予定をしておりますので奮って参加いただける様、お声掛けお願い致します。

会員増強維持委員会 委員長 結城 剛



先週、会員増強維持委員会を開催しました。2月末までに紹介カードを会員からFAXでもらうことになりました。是非、ご紹介の程宜しくお願いします。

ゴルフ部会を4月7日(土)に開催します。入会希望者も連れて来て頂きますよう宜しくお願いします。

第2770地区 財団奨学・平和フェロー・ 学友委員会 委員長 田口修身



2月3日に財団奨学生の2770地区と2570地区の合同オリエンテーションが開かれました。今年度奨学生として送り出す人の発表会であり激励会でもあります。地区の両ガバナー以下40人以上が集まりました。私と新見さんとで参加してきました。委員長がインフルエンザで代行することになりました。

2770地区からはお医者さんばかり3人送り出します。ハーバード大学で精神医学を研究する者、オーストラリアのモナッシュ大学で救急医療を学ぶ者、ロンドン大学で産婦人科の母子の健康について学ぶ者の3人です。高い志を持って、もっと学びたいという姿勢は感銘を受けるものがあります。

財団奨学生については現在募集中です。財団の奨学金を受けて学びたいという優秀な学生・社会人が回りにいましたら是非推薦してください。奨学生を長く当クラブからは出していないようです。ロータリークラブは良い事をたくさん行っています。財団奨学生もその一つです。是非候補生の推薦よろしく願います。

誕生日祝 2月生まれ



親睦委員会 委員長 井上勝美

渋谷廣慶(4日)、天池健二(5日)、矢部正博(7日)、石丸主憲(10日)、染谷義一(21日)、村松宏呂子(23日)、富加美俊彦(25日)、野口 裕 (25日)、胡 平(26日)、齋藤 實(28日)、高橋真貴子(28日)、各会員



ゲスト卓話

卓話者紹介

国際ロータリー第257地区
1986-1987年度
地区幹事 大竹庄藏会員



齋藤 勝 プロフィール
生年月日 1938年2月2日生まれ
事業所 (株)齋藤一級建築設計事務所
職業分類 建築設計 (一級建築士・土地家屋調査士)

ロータリー歴
1975年7月 八潮ロータリークラブ入会(創立会員)
1977~78年度 クラブ幹事
1985~86年度 クラブ会長
1994~95年度 地区幹事 (田中作治ガバナ一年度)
1995~96年度 地区第11分区代理
1997~98年度 地区クラブ奉仕部門委員長
2002~03年度 地区社会奉仕部門委員長

国際ロータリー第2770地区
1994~1995年度
地区幹事 齋藤 勝 様



「ロータリーの基本的な考え」

1. ロータリーの基本理念と共通理念について
2. ロータリーの基本と目的について
3. 奉仕の精神の言葉の真意と、奉仕の理想・超我の奉仕について
4. 実践で培われる奉仕の精神について
5. ロータリーは結果よりプロセスが大切について
6. 実践の要となるクラブ運営について

1・・・「ロータリーの基本理念と共通理念」について

ロータリーの基本理念は「一般哲学とロータリーの哲学」が原点。

人は、宗教や哲学を拠り所にして「善悪」を判断し「信念」を形成して生きている。

宗教間も、生きる価値観も違う120万人を超えるロータリアンが「心を一つに奉仕に当たる」とき「共通の精神的な基盤」「共通の理念」が必要。

◎『共通の理念』

人間は「社会的動物」と言う「認識」が基本。この考えが「ロータリーの発想の出発点」。

ロータリーの考え方の原点は、

人間が社会を作り、互いに助け合いながらでなければ生きて行けない社会的動物なら、身近な他人の事、あるいは大きく世の中の事を心配し、互いに助け合う事を心掛けてゆく事が必要。

2・・・「ロータリーの基本と目的」について

◎「ロータリーの基本」

ロータリーの基本は、奉仕の精神の育成。

ロータリーは団体奉仕ではなく、「人間一人一人の心の中にこそ奉仕を喜ぶ精神を」と言う「奉仕の精神を育てる」ことを「活動の基本」としている。

この考えが、他の団体とロータリーを区別する特色であり、ロータリーの独自性、存在価値、魅力となっている。

◎「ロータリーの目的」

様々な「奉仕活動」や、全会員に与えられた「役職」に基づく「ロータリー活動」等を通してロータリアン一人一人の「奉仕の精神、奉仕の心」を育てる事が目的。

3・・・「奉仕の精神の言葉の真意・奉仕の理想・超我の奉仕」について

◎「奉仕の精神の言葉の真意」

奉仕を自ら実践する事で「奉仕の精神」を養うことが出来る。奉仕の精神を養う実践目標として「奉仕の理想」を掲げている。

◎「奉仕の理想」

一言でいうと、どれだけ「多くの奉仕」を「自己犠牲」でなく「喜びをもって」行えるかという事。

人々が、より多くの奉仕を喜びを持ってすることが出来、又そう言う人達で溢れたら、平和で素晴らしい理想的な社会が出来るだろう。こう考える事を「奉仕の理想」と言う。

◎「超我の奉仕」

「全ての奉仕」を「少しの犠牲」も無く「喜びを持って実践」出来た時「超我の奉仕」と言う。

4・・・「実践で培われる奉仕の精神」について

奉仕の精神を育てる最適な場所はクラブ。クラブを「実践の場」として「トレーニングの場」として利用する。

全会員の「役職」を1年で交代する仕組みは、一人一人の会員が「偏る」ことなく「公平」に毎年・色々立場を変え、視点を変えて奉仕活動を自ら手掛けることが出来る。

5・・・「ロータリーは結果よりプロセスが大切」について

奉仕活動を手掛けて行く過程に於いて、どれだけ多くの会員が協力し合い、創造的に建設的に関わり、実践の場として、トレーニングの場として、その奉仕活動を活かし「奉仕の精神高揚に役立ったか、その奉仕活動がロータリーの活動として意味があったか、価値があったかが問われる。

◎誤解を恐れずに言えば、ロータリーにとって、奉仕活動がどれだけ地域社会などに効果があったかは二の次。それよりも「会員一人一人の奉仕の精神の高揚」を第一の目標としている。

6・・「実践の要となるクラブ運営」について

どんな奉仕活動をどのような手順や形で行ったら、より多くの会員の「奉仕の精神高揚」に役立つか、こうした考えを優先させ「クラブ運営」を図る事が大切。

会員の「奉仕の心」を高めるには、人間が持っている「創造性」を発揮し「建設的」に協力して行く「新鮮な喜び」を感じる事が必要。

ロータリーと他の殆どすべての組織とは、団体の性格が本質的に違う。

ロータリーは他の団体の様に、団体としての目的はない。「個人が奉仕の精神育成」と言う目的を持った集合体。

世の中は、生きるための激しい戦いに満ち溢れております。

ややもすると人間の欲望の渦巻く中、だましあいや、ねたみ、疑心暗鬼などが起こりかねない世の中です。

そうした中で、ロータリーは「せめてここだけは童心に帰り、利害を離れた友情を」と言う事で生まれたものです。

正直で素直な気持ちでお互いに関わる事を忘れてはいけないと思います。

「ロータリーはそのために生れたのですから」。